



己巳事略

栗香

早稲田大学図書館
文書 27
B 13



明治二年己巳年帳核抄

三月七日

聖上西京御遊幸事廿八日東京御着

寮君上杉式部三月朔日米澤城と發し三月十日東京麻布御着

三條殿三月廿九日東京御着

英國公使ハークス三月廿日頃激論

外國官十七條建言書乃出

行政官三月廿日頃開鎖論

岩倉殿大久保一花木戸准布四月廿四日御着

出州藩公用人毛利恭助四月廿七日麻布印被召
出官房君亦多不成

五月初日議定参与六官分課

土州修官堂板垣後孫不系

四日諸藩建白其出

四藩薩長土肥重臣郡縣之見込御下問

十日箱館平定之報あり揚存陣代謝罪

十四日奥羽諸藩首謀朝裁

十日行政官職負輔相一人三條議定四人岩倉正
規所奏

参与六人

十六日西郷隆盛箱館出陣 攘夷家也仕末

廿日箱館降收北法在報告

廿日法度総奏内皇道推用蝦夷怒并南

御海蔵

廿日法度総奏内

箱館戦争概略

四月廿七日天不來官軍戦勝

五月四日六官軍艦春日海上之綱と断切

七日甲鉄艦春日朝陽内港に迫

十日海陸両道攻撃敵方即死五十四人助命甲文

回天瑞龍為艦共燒朝陽破裂千代田捕獲
廿一中島高助父子戰死浦屋与力可

十有休兵海陸降伏

十六日楊本降伏

六月十一日諸侯信卷内府藩縣制度亦布達
九成

二十以上杉武部官位如故從四位或大納言部在

前下長井四男在出地屋代御中山之地荒

水邊拜出御出中

七月廿一上杉式部大輔政由正左衛門賜予

七月八日大久保一花亦准高橋孫家印板垣退助

在名世通諸君與職被免

十七日之合殿不系林之与出勅

二十日森吉深判可也

二十日大倉廣澤

八月三日遠水河岸新年屋与舟也出

八日田之免御也

十有山川之免御也

下水和泉橋通由免御庫大印御館之身在

堀夷御振備業

九月之前地四萬石建都之郡議有与之忠告也
蝦夷并振之以此備換者廷議之
七日大久保彦謙之相欲去以強兵所黑田忠房
大正和博酒間英佛伐清之議論也
八日島就之印之聖武攝防之故之條別之壯勇
訪坂身先利若印之東忠告也
九日勝房州之訪湯然黑田忠房之官信佛來
之史料斷民之壯告之以此充之也
信也
大村共部大正克曾於西京被斬

昔小川春政早退則着千坂大春事書上推大春
事一糸

十日大久保彦謙之訪湯然大春事推大春中
人與之曾之川也之庭湯野川早退也立

十日先利之訪小川日道本祐也之訪

十日曾芳原之游也

十日若公用人也乎半蝦夷磯底郡之内後別川西
割渡之也成

十日以勝也后之訪

十七日集議院廢新英之議也排也

十、廿、僧之、訪、黑田之、訪、不在、醉、月、の、酌

十、浦、氏、四、節、之、訪、勝、日、以

十九、日、土、州、用、人、西、野、彦、四、節、不、村、桂、市、間、忠、就、三、生

と、和、泉、冬、之、飲、む

二十、日、徳、り、無、く、中、夜、乃、小、川、口、伴、乃、酒、飲、聊、在、夜

山、森、小、川、之、祀、先、之、成

廿、日、雨、小、川、伴、数、歩、杉、本、之、飲、む、小、川、菊、飲、む

廿、二、日、雨、由、乃、大、概、秀、如、之、九、飲、之、飲、む

廿、三、日、酒、名、原、藤、太、郎、之、訪、九、飲、飲、む、飯、更、後、亦

く、徳、り、南、陽、史、之、以、大、井、之、討、飲、飯、更、乃、松、海、之、亦

廿、四、日、利、茶、巾、之、訪、夜、秋、山、瀨、下、寺、到、着

廿、五、日、終、日、不、平、先、利、之、遊、懐、之、主、杖、殺、之、治、名、也

廿、六、日、古、州、藩、帥、之、訪、板、垣、之、高、層、之、后、日、後、無、日、是

出、帆、之、也、以、臣、出、者、也、乃、木、之、津、平、市、之、十

八、百、名、後、孫、板、垣、之、千、石、氏、之、産、駒、之、在、堂、五、名

英、心、軍、艦、朝、鮮、之、伐、一、朝、鮮、必、死、之、戦、勝、也、亦

十、日、之、美、之、飲、能、死、之、以、防、之、也、也

廿、七、日、久、保、書、林、之、也、乃、一、書、得、病、屋、住、中、川、菊

不、飲、夜、新、宿、之、也、就、以、花、之、買、也

廿、七、日、主、上、集、議、院、行、事

廿八日奥羽返戻 謹慎志見 御休旨

小川参政早退参

十月六日

三條公に拜謁し御言上

次第を承りお成りカハリナウに侍

向日沙伴出首に御強朝命を奉勤王を

よみ七条浦で粘傷取り多細板垣より

人相を承りお成り 昨年大坂の兵ッタクが傷を

月次よりハ甘粘の同志ハ甘粘のつ次コナ

と承りた 萬一心配に義の家来共より御言上

つたが此末迄ハ入意にヨウ
其御言上ハ名辨に御言上

屋代郷下草井 土地は振舞

五月三日民部省より御言上ハお成り

十日 非常劇旋

十日 板垣内話を御言上

十四日 岩倉殿中より御言上

十日 三條殿より御言上

直道達

十六日 本林と

十七日 民部官^{建白}

十八日 廣澤民部官副知事内談

十九日 内務省内談

廿日 伊知友四郎内話。土地替親類が民部
省に呈出

以上土地振替の次第

十月廿八日 本林寺、薩州、少佐より、お茶と岩茶

十二月十日 木下準平、中用良

十八日 大久保一花、黒田了以、河出帆

十中。進退一、身、増減、毛利、恭、仰、お談

十五日 毛利、恭、助、和、泉、文、飲、中、飛、脚、参、三

古澤、三、郎、の、物、を、贈

吉井、半、輔、の、大、説、お、及、中、と、列、の、説、事

十六日 於大説、の、日、迄、吉井、虎、高、参、事、多、く、参、事

り、た、を、白、紙、に、

毛利、惣、兵、衛、と、勝、齋、州、の、日、迄、刀、の、改、事

十七日 土州、原、四、郎、會、う、大、杉、屋、に、佐、井、寅、三、郎

参、事

本、い、つ、言、ふ、れ、を、い、り、り、と、な、り、佐、渡、の、佐、渡、の

四十九里、ヒツクリ、シヤツクリ、波、の上、に、ラ、シ、ヤ、ル、ナ、ラ、ラ、イ、ヤ、レ

半領新日古平、准儀、指之一藩、
存七、關係、後、
雁島山、
仰府、
各藩、
職、
為兵、
之、
振、

作付、

且、
有、
減、
六、
仰、

七月、
守、

本林寺大和守叔
此以白腰折一草押毫為信
此後元
未幾少

庄内酒勝山挂四中うち其廻
雲脚相痛仕ぬ矣論不実、此候出
と先以益少法積少職子お
段天天涯うち、此、作、本、邦、邦、
より、系、系、自、々、輕、重、も、有、之、實、似
非人、之、責、可、指、候、事、中、海、南、野、并、邑

此轉打、し、御、付、糸、端、は、吊、成、下、の
原、始、に、禮、々、果、々、之、名、歎、也、信、に、證、古、年
好、固、り、決、志、在、り、申、す、に、形、將、動
揺、之、不、仕、得、天、此、候、時、節、老、若、引
渡、の、七、十、五、年、に、崎、路、を、引、移、り、案
小、構、其、の、り、り、に、於
尊、等、福、御、位、上、満、有、名、上、地、也
振、起、し、御、位、由、重、疊、以、信、に
印、年、南、山、の、先、生、に、其、力、を、
寄、附、位、大、併、全、く、平、生、を、信、義、哉

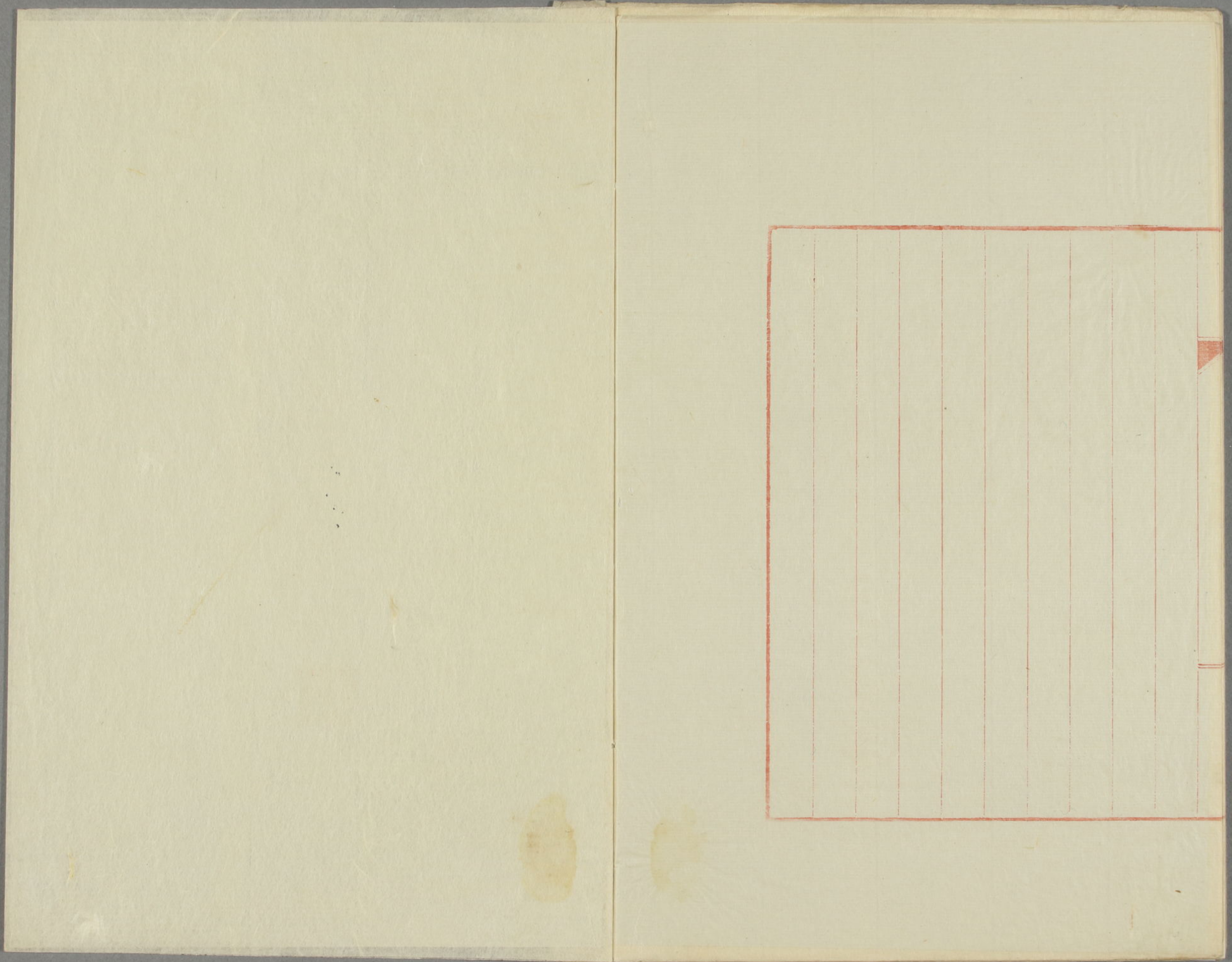
天廷の事占ふに歳を以て何事也
尚より来波の事何事か此生初節
多由りて中と難事多し困り高
生るる事存るは危也南風を以て任
折る物折るは如く折る事也其
免る事苦辛身折る事也其
免る事苦辛身折る事也其
免る事苦辛身折る事也其
免る事苦辛身折る事也其
免る事苦辛身折る事也其
免る事苦辛身折る事也其
免る事苦辛身折る事也其

侍者等好む振る事貴者と如く少
少

初秋言 清山生

里山先生
二名に保山川君と云ふ有るは鶴
らや女子好る事

雁家教より末節
秋来降る法何漸着氣を付て少
此法家引續る事兵力を能く修る



巴文香山携带

